

令和元年度小平こども園読書活動についての保護者アンケート集計結果

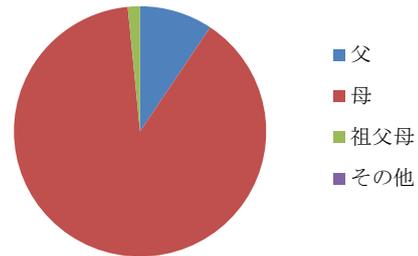
当園ではこのたび、令和元年度のこども園読書活動として、保護者の皆様を対象にアンケートを実施いたしました。園全体として読書活動を振り返ることで、職員自身のみならず、園全体を見つめ直すよい機会となりました。これらの結果を今後の読書活動の参考にさせていただき、さらなる教育活動の充実、読書環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいりたいと思います。

【実家庭世帯43世帯（園児数64名）中、43世帯（64通）提出 提出率100.0% 令和元年10月31日現在】

1 あなたとお子さんの関係を教えてください。

設問1

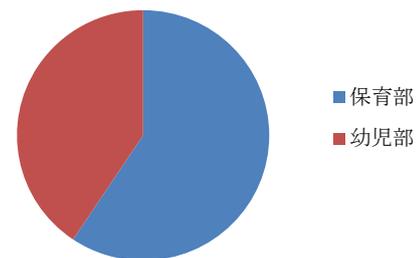
父	母	祖父母	その他
6	57	1	0



2 お子さんの対象クラスを教えてください。

設問2

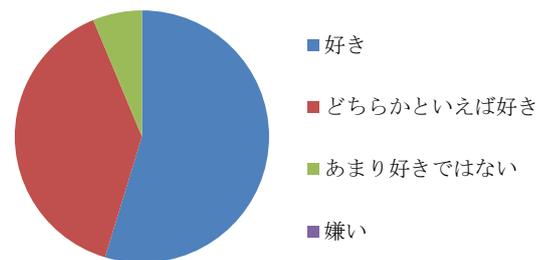
保育部 (つくし・もも・たんぽぽ)	幼児部 (すみれ・さくら)
38	26



3 お子さんは絵本が好きですか？

設問3

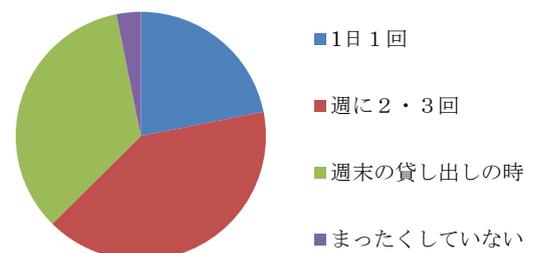
好き	どちらかといえ ば好き	あまり 好きではない	嫌い
35	25	4	0



4 お子さんには、どのくらい読み聞かせをしていますか？

設問4

1日1回	週に2・3回	週末の 貸し出しの時	まったく していない
14	26	22	2



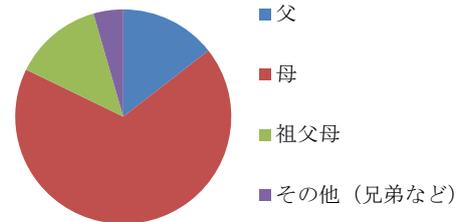
5 「まったくしていない」の方にお伺いします。理由をお聞かせください。

- ・きちんと聞いてくれない。
- ・読んであげる時間がない。
- ・特に理由はない。

6 普段、ご家庭では、主にどなたがお子さんに本を読んであげていますか？（複数回答あり）

父	母	祖父母	その他（兄弟など）
13	61	12	4

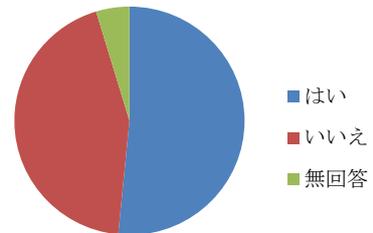
設問6



7 あなたは「家読（うちどく）」について知っていますか？

はい	いいえ	無回答
33	28	3

設問7



8 設問7で「はい」とお答えした方にうかがいます。「家読」によって得られる効果とはどんなことがあるとお考えですか？

- ・子どもとのコミュニケーション、スキンシップが取れる。（深められる。）
- ・親子のふれあいができる。
- ・家読という環境があることで、読書をする習慣が身に付くと思う。また、同じ本を一緒に読むことでインプレッションを述べ共感共有するコミュニケーションツールとして、大変大きな役割になってくると思う。
- ・心の安定。
- ・子どもとの時間を過ごすことができ、関係性を築ける。
- ・ゆっくりじっくりふれあえる時間がなかなか作れなくても、家読によって親子のコミュニケーションがとれる。
- ・子どもに色々な知識が付きそうな気がする。
- ・スマホ、タブレットが当たり前となってしまった今、本を読むということは、話を聞く大切さや感情が豊かになる、視野が広がる、たくさんの事に興味を待つなど、色々な期待が考えられる。
- ・子どもの知識や想像力が豊かになったり、親子のふれあいの時間をもつことで、精神面でも安定したり、穏やかな気持ちになれたりする効果があると思う。
- ・絵本から大切なことが教えられる！
- ・知識が付き言葉もたくさん覚えると思う。
- ・本を読むことで他人の気持ちが分かるようになると思う。

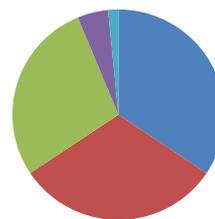
- ・言葉を教えるツールになる。
- ・勉強（学習）の時に読む力が付くと思う。
- ・膝の上に座らせて本を読むのでスキンシップにもなるし、二人だけの時間にもできるからとても良い。
- ・今よりももっと話す時間も増えると思う。
- ・絵本について深く考え話し合うことで、子どもの考えや思いを知ることができる。
- ・「自分の気持ち」を知ることができると思う。自分がどう思ったか、本を読み終わって感情を得ることができると思う。自然と相手を思いやれる気持ちを習得するのに繋がるのではないかと思う。
- ・絵や内容から考えたり学べたりする。
- ・問題などを読んで理解（解決）する力がつくと思う。

9 あなた自身は本を読むことが好きですか？

好き	どちらかといえば好き	あまり好きではない	嫌い	無回答
22	20	18	3	1



設問9



- 好き
- どちらかといえば好き
- あまり好きではない
- 嫌い
- 無回答

10 「嫌い」の方にお伺いします。理由をお聞かせください。

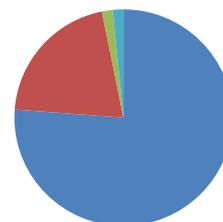
- ・本を読む習慣がなかったため。
- ・本を読むことが得意ではないため。



11 あなたは、本を読むことが大切だと思いますか？

非常に思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	思わない	無回答
48	13	1	0	1

設問11



- 思う
- どちらかといえば思う
- あまり思わない
- 思わない
- 無回答

12 どうすれば、子ども達がもっと本を読むようになると思いますか？

- ・楽しさを伝えることが重要。
- ・逆に教えてほしいです。
- ・おもしろくびっくりした文など感情を入れてなりきって本を読むなど、読み手なりにやっています。
- ・どんな話が好きか聞いて、興味あるものを読んであげる。
- ・いつもとは違うジャンルの読み、世界を広げてあげられるようにする。
- ・大人が積極的に読み、忙しい中であっても1冊でもいいから読むことを意識する。
- ・親子で絵本を借りたり買いに行ったりする。
- ・子どもと一緒に絵本タイムを楽しむ。
- ・タブレットで動画を見るのをやめる日を決めて、本だけを読む日を作る。
- ・子どもが興味のあるものを選ぶ。
- ・寝る前に読み聞かせをして寝るようにしているが、家の本だけでは限りがあります。いつでも好きな時に園の本をお借りできれば多くの本が読めると思います。
- ・定期的に読む時間を作る。
- ・子どもに取りやすく目に入りやすい所に本を置く。
- ・興味を引くようなタイトルの本を選ぶ。(子どもの好きなキャラクターなどが入っているようにする。)
- ・話し手が子どもに語りかけるように読む。
- ・こども園での読み聞かせや絵本サロンのおかげで絵本が大好きです。
- ・親がまずは絵本を好きになるようにすれば自然と子どもも興味を持つと思う。
- ・継続して図書館や本屋さんへ出かけ、絵本に触れる機会を増やすことで、もっと絵本を読むようになると思う。
- ・「一緒に読もう！」と声をかける。
- ・親がもっと絵本とふれあえる機会を作るようにする。
- ・親が普段から本を読んでいる姿を見せたり、スマホやゲームを子どもの前で使う時間を減らす。(やらない。) その時間に絵本を読む時間にする。
- ・本を読むことをほめてあげる。＝本を読むことは良いことだ知る。
- ・音楽に合わせて歌ったりする。
- ・本の値段もけっこうするし図書館まで借りに行くには遠いので面倒に思ってしまう。園の本を好きな時に借りれたらもっと多くの本に出会えると思う。
- ・クイズ形式や仕掛けがある絵本を選ぶ。
- ・自分で文字が読めるようになると楽しくなるのかな?と思う。
- ・子どもが小さいうちから絵本に触れていないと手に取る機会はないと思うので、家での環境を整えることが大事だと思う。
- ・絵本サロンのようなことを続けてほしい。



13 小平こども園の読書活動について (たんぽぽ・すみれ・さくら組の保護者対象)

【実家庭世帯39世帯(園児数47名)中、39世帯(47通)提出 提出率100、0% 令和元年10月31日現在】

①絵本サロンについて、お子さんから内容を聞いたことはありますか？

はい	29	いいえ	14	無回答	4
----	----	-----	----	-----	---

②お子さんは「絵本サロン」を楽しんでいると言っていますか？

はい	39	いいえ	4	無回答	4
----	----	-----	---	-----	---

③あなたも参加してみたいと思いますか？

はい	39	いいえ	6	無回答	2
----	----	-----	---	-----	---

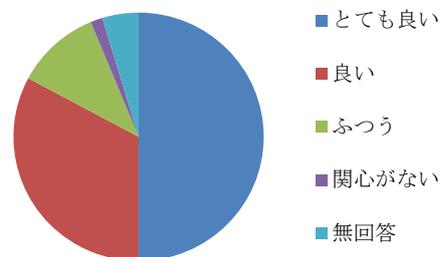
④絵本サロンには実際に参加したことがありますか？

はい	19	いいえ	27	無回答	1
----	----	-----	----	-----	---

14 絵本日より「えほんのひろば」の内容について、どのように感じておられますか？（全クラス対象）

とても良い	良い	ふつう	関心がない	無回答
32	21	7	1	3

設問14



15 絵本だよりに掲載してほしい話題や要望、園での読書活動に取り入れてほしいこと、「我が家の読み聞かせについて」など自由な意見をお書きください。（全クラス対象）

- ・読み聞かせがあった日は、家で話をしてくれます。おもしろい文はおもしろく、びっくりの場面はびっくりしたように読むなどすると、子どもは興味を示しますね！
- ・家でお友達が読んでいる本など、たくさん紹介してくれているのがとても良いです！
- ・年齢に合った絵本の紹介をしてほしい。
- ・先日、親子で初めて村の図書館を利用する機会がありました。こども園でもみんなで出掛けて好きな本を見つけられたらと思いました。人数が多くても講堂などを利用して工夫すれば、もっと図書館が身近なものになるのかな？と思います。家の本では限りがあるので、本に触れ合う機会を作るにはこういう活動もいいのかと感じました。
- ・ロングセラーの絵本（昔からある定番の絵本）などを教えてほしい。先生ごとのランキング絵本とか。
- ・我が家では兄姉が絵本大好きで、妹に絵本を読み聞かせしてくれます。おかげで妹も絵本が大好きです。親が絵本を読むと3兄妹静かに聞いてくれ、それぞれが感想を教えてください。絵本タイムは子ども達同様私（親）も好きな時間です。
- ・兄弟がいる家庭は一人だけに読み聞かせるのが、なかなか大変です。みんなどうやって落ち着いて読み聞かせができるのでしょうか？
- ・たくさん読むことが良いこととは限らず、内容について話すことが大事なのかな？と思う。絵本だよりなどに子ども達の感想（学んだこと）などを載せてもいいかなと思う。
- ・いつも親の都合で読んであげられず申し訳なく思っている。兄妹がいると一人に付き添って読むことがなかなかできません。

- ・おもしろい、楽しい絵本も良いですが、実際にあったことの絵本もたくさん読んでいただけたらいいなと思います。それで子ども達がどのように感じたか聞いてみたいです。
- ・紙芝居をやってみたらいいのかなと思います。
- ・園で子ども達が興味を持った絵本などを教えてもらえると、家で読んであげる本を買う時、参考になります。
- ・保護者のオススメ絵本だけでなく、先生方の普段子ども達に読んでいるオススメ絵本を教えてください。
- ・子ども達が本を読んだ感想など、知りたいと思っております。
- ・絵本日より、いつも楽しみにしております。ありがとうございます。載せてあった「星の王子様」の本を購入してみました。時間を作って読んでみたいと思っています。良い機会を作るきっかけをありがとうございます。
- ・今後もオススメの絵本を紹介してほしいです。
- ・保育参観で紹介して頂いた「ハナミズキのみち」とても感動しました。今まで子ども達に震災や戦争の話の本を読んであげたり話をする機会もなかったたので、絵本をとおして教えてあげようと思いました。戦争や震災を知らない子ども達に本を通して教えてあげられるんだと、家読の大切さを改めて感じる事ができました。
- ・絵本だよりの「オススメ絵本」よりも絵本サロンや参観で読んでもらった絵本の方が、「また読んでみたい」と思えます。
- ・姉妹一緒に読み聞かせをすることが多いのですが、どうしても二人の見たい場面が違ってケンカになるので、どちらかがお昼寝をしている時に一人一人とゆっくり絵本の時間をつくるようにしています。全く違う感想が聞けておもしろいです。
- ・小さい子が楽しんで読める本を知りたい。
- ・他のお家では、どのようにして家読を導いているのか知りたいです。また、ご紹介頂いた本のポイントなども参考にしたいので、教えてください。
- ・皆さんのオススメ絵本がもっと知りたいです。
- ・子どもに本を読むことを勧めたい。でも親は本を読む機会が少ない。せめて子どもと同じ絵本に興味を持つことが大切だと思う。
- ・金曜から日曜で読めるので、2冊くらいの貸し出しも良いかと思う。本によってはすぐに読み終えてしまうので。

【アンケート結果の考察（気付いたこと・今後の課題など）】



◎設問4について

ほとんどのご家庭で読み聞かせをされていることが確認できました。読み聞かせは幼児期の人間形成において欠かせない教育要素のひとつであり、豊かな感情と思考力を育むと考えます。今後もご家庭でのご協力を賜りたいと思います。

◎設問6について

読み聞かせを誰が行うかという設問でありましたが、今年度はお父さんの参加が昨年よりも大きく増え、非常に嬉しく思います。（昨年度は3名だけでした。）お父さん方の家読への意識の高まりと、育児への積極的な参加が結果として表れていました。子ども達が読み聞かせをしてもらった記憶は、決して色あせることはありません。今、こうして過ごす1分1秒が、子ども達の未来の姿となっていくことでしょう。

◎設問 7・8について

本年度、小平こども園では「家読」を大きく取り上げ、何度も絵本だよりなどでもご紹介してきました。「家読」というワードを広く保護者の皆様に知っていただくことを目標としてきましたが、結果として半数の方々にはまだ、「家読」をご理解いただけていなかったという結果になりました。絵本だよりをさらに保護者の皆様が「読んでみたい!」と思える内容に工夫する必要性を感じると共に、今後も更なる努力に務めていきたいと思えます。しかし、「家読」に関心をお持ちの保護者様からは、素晴らしいご意見・ご感想をお寄せいただき、「家読」の良さや意義においてもご理解いただけていたことを嬉しく思いました。「家読」は、内容を理解させることが目的ではなく、小さいうちは親子の絆を深めるという意味であり、親子でコミュニケーションを築くために大きな役割を果たしてくれます。絵本を通してより温かな絆を深めていただけたらと思います。

◎設問 9について

保護者の皆様に対する読書意識を確認させていただいた項目になりますが、たくさんの保護者の皆様が、「本が好き」という意識を持っておられます。しかしながら「あまり好きではない」という回答もありました。背景には「読書習慣がない」ということもあるようです。習慣は一朝一夕で確立するものではありません。「続ける」ことの大切さを改めて感じます。私ども職員も積極的に読み聞かせをする姿を子ども達にみせていくことで、子ども達の読書意識を高めていけたらと思います。あまり好きではないと思う皆様、まず絵本から始めてみてください。

◎設問 11・12について

ほとんどの保護者様からは、読書は「大切」という回答をいただきました。読書の重要性や必要性を、十分ご理解いただいていると感じております。子ども達が、今以上に読書意識を高めていくためのご意見もたくさん頂戴しました。園でも保護者の皆様のご意見を参考に、日々の読み聞かせ活動に活かしていきたいと思えます。各ご家庭でもぜひとも参考にさせていただければと思います。

◎設問 13・14・15について

園の読書活動の一環として、「絵本サロン」を開催してきました。職員が絵本や紙芝居を選定し読み聞かせしたり、絵本の内容に沿って演劇したりと創意工夫を重ねて活動を推進してまいりました。子ども達の楽しそうな笑顔や歓声をうけ、職員一同、非常にうれしく思っております。本年度は、地域の皆様（福祉センター利用者様）にもおいでいただくなど、回を増すごとに来園者が増え、世代間交流を楽しみながら開催しております。今後も継続し、読書は楽しいと子ども達が感じられる活動を目指していきたいと思えます。また、毎月発行している「えほんだより・えほんのひろば」においても、「良い」と感じているご家庭が多かったこと、非常にうれしく思えます。園での読書活動をお伝えする内容や、絵本の紹介などが主となる内容ではありましたが、たくさんのご意見をいただいたことを受け、今後の絵本だより発行の参考にさせていただきたいと思えます。貴重なご意見をたくさんいただき、ありがとうございました。

◎アンケート調査を終えて

今回で3回目となる読書活動に対するアンケート調査ですが、昨年度よりも更に保護者の皆様の読書意識が大きく変わってきていると感じました。絵本の読み聞かせの意義や重要性、そして絆を深めていく「家読」の大切さを保護者のみなさんお一人お一人が実感しておられる証拠だと思えます。今後とも、どうか小平こども園の諸活動へのご理解とご協力を賜りたく存じます。

